

舵輪

第173号

2025年 5月 発行



舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

着任の挨拶

岡一等航海士

4月1日付、海事課長・海王丸一等航海士を拝命いたしました、岡あや乃（おかあやの）です。出身は東京都ですが、海からは少し離れたところで、雪国に住むのは初めてで、今年初めの大雪のニュースを見て、すでにドキドキしています。また、美味しい海の幸や、日本海・富山県ならではのものに出会えることをとても楽しみにしております。

2020年度から2年間は、初代海王丸の姉妹船である、初代日本丸に二等航海士として勤務しておりました。本船の勤務および一等航海士業務は初めてとなりますが、日本丸での経験を生かし、手探りながらも尽力していきたいと思っております。前任者同様、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。



田中技術員



この度、4月1日で海王丸財団の技術員に配属になりました田中慧です。8年ぶり2回目の富山の生活です。精一杯努力して1日でも早く皆様の役に立てるよう頑張ってお仕事をしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

川原事務局長

この四月の異動により富山県から伏木富山港・海王丸財団へ派遣となり、事務局長を拝命いたしました川原です。

3月までは森林政策課、その前は砂防課に勤務しており、山や森林をメインとした仕事をしておりました。今回は帆船海王丸や大海原を望みながらの海の仕事となります。

「森は海の恋人」という言葉があります。山や森林の養分が海へそそぎ、豊かな海となって



いるように、今までの山を望む仕事の経験が財団でいかせるように努力したいと思います。

また、全国の方々に愛される海王丸パークになりますように、財団の皆さんや関係者の皆さんと協力してがんばっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

満保主事

令和7年4月より、射水市から公益財団法人伏木富山港・海王丸財団に派遣となりました総務課主事の満保です。富山県そして射水市を代表する観光地のひとつである海王丸パークで勤務できることを大変光栄に思っています。

着任日当日、帆船海王丸の優雅さに改めて感動し、多くの方々に海王丸パークを訪れてほしいと思いました。総帆展帆をはじめとする海王丸パークでのイベントを通し、より多くの方々が海王丸パークを訪れ、帆船海王丸に乗船していただき、魅力を感じていただけるような環境づくりに尽力したいと考えております。初めて経験する仕事も多く、ご迷惑をおかけすることも多々ありますが、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。



することとなっております。今後、富山に寄港する機会もあるかもしれませんが、たとえ寄港しなくても、休暇中にはぜひ富山を訪れたいと考えております。ボランティアの皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。今後とも帆船海王丸をどうぞよろしくお願いいたします。

増井技術員



皆様お世話になりました。2回目の富山県での生活でしたが、美味しい食べ物や美味しいお酒に恵まれて楽しく2年間過ごすことができました。6月からは2代目海王丸に乗船いたします。休暇の間は展帆のお手伝いでお世話になるかもしれません。よろしくお願いします。

林事務局長

4月に派遣元の富山県に戻りました前事務局長の林です。財団では3年間お世話になり、この場をお借りしてお礼申し上げます。



海王丸との縁は30年以上前、開園したての海王丸パークに度々ドライブで立ち寄っていた頃に遡ります。当時の写真が1枚残っていますが、背景に映る海王丸は今でも変わらぬ美しさで驚かされます。これも代々の海事課職員の皆さんによる日々のメンテナンス、ボランティアの皆さまのご協力の賜物であり、県民の一人として改めてお礼申し上げます。

今後も縁を感じる海王丸を陰ながら応援しつつ、自宅から最短25分と案外近かった海王丸パークにドライブで訪れたいと思います。

東井主事

この度の人事異動で派遣元の射水市に戻りまし



退任の挨拶

伊藤一等航海士

ボランティアの皆様、こんにちは。このたび3月いっぱいをもって一等航海士の職を退任することとなりました。在任中、ボランティアの皆様には多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。心残りなのは在任中の総帆展帆が少なかったことです。来年度は10回総帆展帆ができるようお祈りしております。私は4月からは次席一等航海士として日本丸に乗船



た、前総務課主事の東井です。令和5年4月から2年間、皆様には大変お世話になりました。

在任期間中は、イベント・広報や施設管理など未経験の業務を経験でき、充実した時間を過ごせたと感じております。また、業務を通じて、地元観光名所のシンボルが職員やボランティアをはじめとする関係の皆様のご尽力により美しく保存されているということを知る良い機会にもなりました。射水市民の一人として、この場を借りて御礼申し上げます。

今回、財団での業務を終えることになりましたが、今後とも施設の発展と皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈りしております。2年間、本当にありがとうございました。

ボランティアの集い

12月1日（日）に令和6年度ボランティアの集いをクロスベイ新湊にて開催いたしました。

総勢70名のボランティアの方々にお集まりいただき、蔵堀会長からの表彰や市や県の職員の方々から激励のお言葉をいただきました。

今年の展帆ボランティアの精勤賞はなんと総勢63名もの方が授賞されました。近年5年ほどの記録を見たところ1番多かったのではないかと思います。

今年は海王ゴールド賞が2名、紺青賞が3名も輩出されました。今年から海の日に実施していた表彰をボランティアの集いで実施させていただくことになりました。来年は何名の方が表彰を受けられるのか、とても楽しみです。

皆様のおかげで海王丸は帆を広げることができているのだと再確認できた日でした。表彰を一つの目標として頑張っていきましょう！

そして、集いの後は船の前で餅つきをしました。こちら50名ほどの皆様にご参加いただきました。私も初めて杵をつかせていただき、つくたてのお餅を味わうことができました。2024年を締めくくる楽しいイベントでした。ご参加された皆様ありがとうございました。

甲板ボランティア 受賞者
<海王ゴールド賞> - 1000時間以上参加
No.407 金井 雄治

（敬称略）

展帆ボランティア 受賞者
<海王ゴールド賞> - 200回以上参加
No.283 尾崎 彦

<紺青賞> - 50回以上参加
No.734 米谷 賢太 No.792 小泉 邦明
No.797 浜湯 ゆかり

（敬称略）

特別見学会

毎年海王丸では12月2週目の日曜日、1月の成人の日、2月14日の進水記念日の3日間、特別見学会を実施しています。これは一般公開では立入できないセイルストア、作業場、機関室、食糧庫などを航海士の案内で周るというものです。当日受付のみですので事前予約はできません。今回は3日間で132名もの方に参加いただきました。一般公開されている場所より、当時の船の生活感が残っている場所なのでボランティアの皆様もご都合が合えば是非特別見学会へお越しください。

案内ガイドボランティア

1月18日（土）に案内ガイドボランティアの講習会を実施しました。

発端は展帆ボランティアの宮下さんが挑戦してみたい！というところから、他にもやってみたい、船をもっと知りたいという方を募集して講習会を実施し、1日で12名の方が登録されました。またご希望の声があれば来年の1月に実施しようと思います。海王丸ボランティアは展帆以外にも様々な関わり方がありますので、ご要望や質問などあればお気軽にお問い合わせください！

ボランティア掲示板

前回の「舵輪」から、ボランティアの中で共有したいことや、宣伝、発信などでもできる「ボランティア掲示板」というスペースを設けさせて頂きました。

今後、皆さんにお伝えしたいことがある方はメールか電話で連絡してください。

今回のボランティア掲示板はボランティア番号 787 番の小野さんに頂きました。(小野さんは横浜の日本丸の展帆ボランティアもされている方です。)

ご無沙汰しております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。実は私、小野このたび展帆ボランティアをテーマとした小説を出版することになり、今回はその内容の紹介となります。

あらすじは、海外転勤することになった兄に代わり、展帆ボランティアを始めることになった女子大学生のコメディタッチの奮闘記です。

タイトルは“笑わないで、藍青！”。皆様お気づきの通り、日本丸の船首像である“藍青”に由来します。Kindle ストア、もしくは Amazon サイトでタイトルの“笑わないで、藍青！”を検索しますと、紹介サイトにリンクいたします(※試し読みもできます)。興味のある方は是非一度ご覧ください。

なお、今回は横浜の日本丸の物語ですが、今後の構想としまして、海王丸のストーリーももちろん考えていますので、富山の方言やご当地事情などを教示いただければ幸いです(私、埼玉県出身のため現地事情を完全には網羅できないためです)。それでは！

小野さんありがとうございました。私も小野さんからお話を聞いて読んでみたくなりまし

た。海王丸の第一教室にも図書として準備させていただこうと思ったのですが、書籍化はされておらず電子書籍のみとなっているそうです。是非皆様もお手持ちのスマートフォンやパソコンなどでご覧になられてみてくださいね。



ここの掲示板はどんな内容でも結構です。

「一緒にスキーをしましょう」でも、「船グッズ集めてます」とかでも大丈夫です。私たち海王丸財団とボランティアの皆様との交流の場になればと思います。文字数は大体 500 字以内でお願いします。書きたい内容などがある方は気軽にご相談ください。また次の舵輪発行まで、寄稿お待ちしております。

編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。4 月に発行したかったのですが、編集に時間がかかってしまい、発行が遅くなりました。大変申し訳ございません。新年度になり財団でも人事異動が沢山ありました。また新しいメンバーで協力し海王丸の各種業務に従事していきます。

幸先よく第 1 回目の展帆も開催できました。この調子で今年は 10 回開催していきたいものですね！よろしくお願いします。(ふ)



舵輪 第 173 号

発行日 2025 年 5 月

E-mail

by-the-wind@kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

〒934-0023 富山県射水市海王町 8 番地

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

URL <http://www.kaiwomaru.jp>